



平成 23 年 7 月 13 日

各 位

福岡県福岡市中央区薬院一丁目 1 番 1 号
メディアファイブ株式会社
代表取締役社長 上野 英理也
(コード番号：3824 Q-Board)
問合せ先：常務取締役管理本部長 吉行 亮二
(電話番号：092-762-0555)
<http://www.media5.co.jp/>

中期経営計画修正に関するお知らせ

当社は平成 22 年 7 月 12 日に公表いたしました平成 25 年 5 月期を最終年度とする中期経営計画「Action Plan 2012」を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 修正の理由

当社は、中期経営計画「Action Plan 2012」の策定以来、IT エンジニアの提供・受託開発案件の獲得・Bakoon!!サービスの推進という 3 つの視点に注力し、目標の達成に向けて積極的に営業活動及びサービスエンジニアへの教育訓練等へ投資を行ってまいりました。しかし、依然、企業の設備投資の抑制傾向が続いており、平成 23 年 5 月期は、当社を取り巻く環境は非常に厳しい状況で推移し、大幅な業績予想の下方修正を余儀なくされました。

また、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災が、今後、国内全体の経済動向に深刻な影響を与える可能性があり、当社の属する情報サービス業界につきましても、IT 関連の投資抑制が懸念され、予断を許さない状況が続くものと考えられます。

これらのことを勘案した結果、「Action Plan 2012」の基本方針の一部追加及び平成 24 年 5 月期と平成 25 年 5 月期の計画値の修正をすべきとの判断に至りました。

2. 中期経営計画「Action Plan 2012」の基本方針（平成 22 年 7 月 12 日策定）

- ①お客様が抱えているシステムに関する問題点に対して、規模と状況に応じた解決策を提案する。
- ②IT エンジニアの技術力・交渉力を高め、強固な IT エンジニア集団を作る。
- ③SES事業^(注1)に関しては、重点顧客を中心に案件の深耕に取り組み、業容の拡大を行う。
- ④スクール事業の福岡県における拠点拡大及び他地域展開を実現し、優秀な人材の確保を積極的に行う。

3. 基本戦略（平成 22 年 7 月 12 日策定）

- ①当社が本社を置く福岡県を中心に、お客様の成長ステージやニーズに合ったシステム開発を提案し、お客様の経営戦略を支援するサービス提供を行う。
- ②SI 事業の営業力を強化することと、案件の効率的なプロジェクト運営を実現し、SI 事業の売上高の増加と売上総利益率の向上を狙う。
- ③当社が得意とするシステム開発の周辺にある参入していない事業に対して、積極的に投資を行い、総合的なシステムインテグレーターとしての地位を確立する。
- ④社員に対して、Oracle 社認定資格及び Cisco 社認定資格等の資格取得を推奨することで、技術力の底上げを図るとともに、プロジェクト運営力に優れた IT エンジニアの育成を行う。
- ⑤現在の重点顧客に対して、技術力及びコミュニケーション力の高い人材を提供することで、重点顧客基盤の深耕拡大を実現する。
- ⑥スクール事業の他地域展開を行うことで、スクール事業としての収益を増加させることに加え、優秀な人材の育成及び囲い込みを促進し、SI事業・SES事業^(注2)の必要人員を確保する。

注1、注2 組織変更を実施いたしましたので、下線部分を SI 事業と読み替えて下さい。

4. 人材資源確保・育成計画「Aura Action」

平成 22 年 7 月 12 日に公表いたしました中期経営計画「Action Plan 2012」においては、お客様第一主義を考えた提案力の向上と営業力の強化及び総合的なシステムインテグレーターへの移行に注力いたしましたが、平成 23 年 5 月期は、当社の主力事業であった人材の提供の部分で売上高が減少したことから、上記に記載した営業力の強化の部分は勿論のこと、新しい人材の発掘及び育成という部分を追加して残りの 2 期間の目標達成に取り組んでまいります。

以下の 2 項目を「Aura Action」として盛り込み、地方の人材の人的価値向上を実現し、当社 SI 事業の SI 福岡グループ・SI 東京グループ・ソリューショングループ・Bakoon!!グループの 4 つのグループ内で人材を活用し、地域経済の発展に寄与しながら業容を拡大させていくことを考えております。

※Aura（アウラ）はラテン語でそよ風の意味です。

5. 「Aura Action」の基本方針

- ①スクール事業（スクール本部）においては、緊急人材育成支援事業訓練又は同等の訓練等による IT エンジニアの育成に注力し、優秀な IT エンジニアを積極的に輩出し、人材資源を確保する。さらに、福岡地区・東京地区以外にも地方都市等への展開を行う。
- ②新設したアウラ本部においては、スクール事業（スクール本部）での訓練生の確保をはじめとして、新卒・中途採用等人材の採用及び発掘に注力し、人材資源を確保する。

6. 業績目標

当初計画（単体）（平成 22 年 7 月 12 日）

（単位：百万円）

	平成 23 年 5 月期 （計画）	平成 24 年 5 月期 （計画）	平成 25 年 5 月期 （計画）
売上高	860	1,250	2,000
売上総利益	279	420	710
営業利益	△36	50	150



修正計画（単体）

（単位：百万円）

	平成 23 年 5 月期 （実績）	平成 24 年 5 月期 （計画）	平成 25 年 5 月期 （計画）
売上高	764	910	1,050
売上総利益	274	310	340
営業利益	△64	0	20
経常利益	△35	4	20
当期純利益	△51	2	15

修正計画（連結）

（単位：百万円）

	平成 23 年 5 月期 （実績）	平成 24 年 5 月期 （計画）	平成 25 年 5 月期 （計画）
売上高	—	980	1,120
売上総利益	—	331	361
営業利益	—	4	24
経常利益	—	8	24
当期純利益	—	4	17

※ 連結子会社の取得に伴い、平成 24 年 5 月期より連結財務諸表を作成会社となりますので、平成 23 年 5 月期の連結業績の実績については記載しておりません。

ご注意 上記に記載した予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。